

2023

環境経営レポート

対象期間：2023 年 1 月～2023 年 12 月

発行：2024 年 5 月 1 日



目 次

1. 環境経営方針	1
2. 会社概要など	2
3. 事業概要など	3
4. 実施体制	9
5. 環境負荷実績・二酸化炭素排出量割合	10
6. 環境経営中長期目標・実績評価	11
7. 主な環境経営計画	12
8. 環境経営への取組み評価及び次年度の取組み	13
9. 環境関連法規等の順守状況	15
10. 環境コミュニケーション	16
11. 代表者による全体の評価と見直し	20
12. SDGs へのチャレンジ	21

基 本 理 念

新日本流通株式会社は、1. 8リットルびん用プラスチック製コンテナ（通称P箱）のレンタル&リユースシステムの運営により、全国的に1. 8リットルびんのリユースに貢献し、循環型社会形成の一環を担っております。びんのリユースの普及促進を通して、さらなる循環型社会づくりに取り組みます。

社会的使命を自覚し、環境への負担軽減など環境経営の継続的改善に取り組みます。

基 本 方 針

1. 循環型社会に向けて、リユースと廃棄物の削減を推進します。
2. 限りある資源を大切にするため、電気・燃料・水の削減に努め、二酸化炭素の削減と水資源の削減を推進します。
3. 環境に配慮した製品サービスの提供およびグリーン購入を推進します。
4. 洗浄剤等の化学物質の適正管理に努めます。
5. 環境関連の法規・条例を遵守します。
6. 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底すると共に、環境経営レポートを通じて、環境活動の状況を公開します。

2015年 1月 1日制定

2019年 1月 1日改訂

2020年 1月 1日改訂

新日本流通株式会社
代表取締役社長 小島 正雄

■ 会社概要

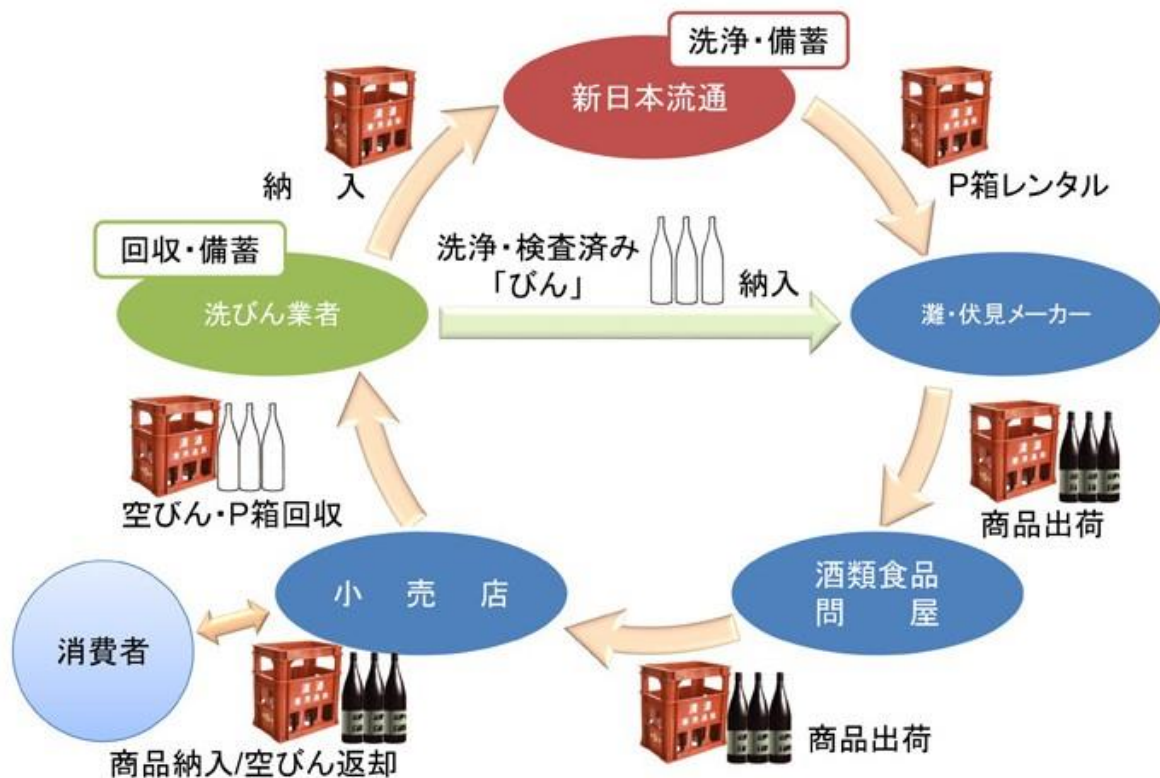
企 業 名	新日本流通 株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 小島 正雄
所 在 地	本 社 兵庫県西宮市和上町6番10号 鳴尾浜事業所 兵庫県西宮市鳴尾浜3丁目7番9号 甲子園浜事業所 兵庫県西宮市甲子園浜2丁目22号 京都事業所 京都府八幡市上津屋林60番1～8（2020.12月閉鎖）
環境管理責任者	岡本 光正
EA21 担当者	竹内 貴哉
連 絡 先	- TEL：0798（23）7031（代表） FAX：0798（23）7038 - E-mail：6p-rental@snr6p.co.jp
事業規模	
設 立	1973（昭和48）年10月11日
資 本 金	2億円
事業内容	(1)清酒その他食品用通箱、物品輸送用容器及び包装資材容器機具の販売、賃貸並びに回収業 (2)製箱及び洗箱機械機具の販売業 (3)陸上及び海上運送並びに倉庫業 (4)食品加工機械の販売業 (5)加工食品及び飲料の販売業
従業員数	24名（本社12人、鳴尾浜8人、甲子園浜4人）
株 主	○商 社 飯田商事株式会社 ○清酒メーカー 大関株式会社 菊正宗酒造株式会社 月桂冠株式会社 小西酒造株式会社 沢の鶴株式会社 宝酒造株式会社 辰馬本家酒造株式会社 日本盛株式会社 白鶴酒造株式会社 オエノンプロダクトサポート株式会社 キンシ正宗株式会社 合同酒精株式会社 櫻正宗株式会社
事業エリア	昭和48年10月 大阪府全域 ～ 現在、日本全域（沖縄を除く）
事業年度	期首1月1日 期末12月31日
取組み期間	2023年1月1日～12月31日 レポート作成：2024年5月1日
認証・登録範囲	本社、鳴尾浜事業所、甲子園浜事業所における全事業活動

活動規模	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上げ高	百万円	1,257	1,108	1,016	813	715	725	702
従業員数	人	43	43	43	36	33	29	24
床面積	本 社	m ²	296.03	296.03	296.03	296.03	296.03	296.03
	鳴 尾 浜 事 業 所	m ²	6,104.35	6,104.35	6,104.35	6,104.35	6,104.35	6,104.35
	甲子園浜事業所	m ²	13,977.98	13,977.98	13,977.98	13,977.98	13,977.98	13,977.98

■事業概要

- 当社のお酒のケースはレンタルによって『リユース（再使用）』しています。

業界では6本入りP箱、通称「P箱」や「6P」と呼ばれているこのお酒のケースは、下の説明にあるようにレンタルと回収を繰り返して「リユース（再使用）」されています。



1. お酒のケースを契約メーカー様へレンタル。
2. ケースが市場に流通、最終的にはお酒屋さん等で商品が売れると、このケースは空箱となります。
3. その空箱やお酒屋さんへ戻ってきた1. 8リットルびん（＝一升びん）の空きびんが入ったケースは、回収委託先であるびん回収業者によって回収されます。
また、回収された1. 8リットルびんも、別のルートをとってリユースされます。（＝リターナブルびん、リユースびん）
4. 回収されたお酒のケースは、当社の事業所に納入され、洗浄・乾燥し再びレンタルされ、または、びん回収業者から直接契約メーカー様に納入、同じようにレンタル（この場合、ケースの洗浄は、各メーカー様自身やびん回収業者で行われます。）されます。
5. 上記 1. から 4. が繰り返し行われる、つまりリユース（再使用）されています。

●リデュース（発生抑制）

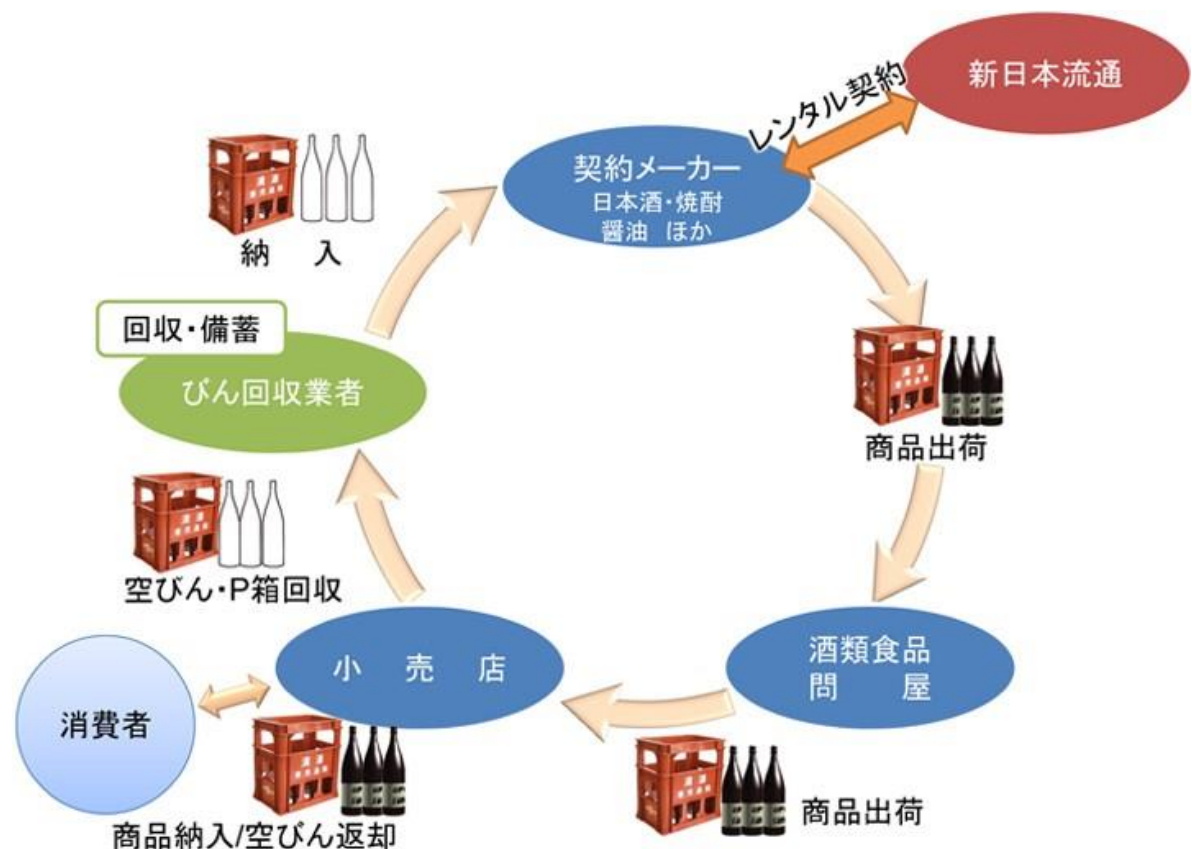
全国のメーカー様がP箱を共通使用することで、メーカー様が各個に自社箱を保有・使用することによるデメリット（回収コストや輸送エネルギーの無駄、ワンウェイ容器の大量使用・廃棄）が解消されます。

・洗箱レンタルシステム

大手清酒メーカーが集中する、灘・伏見・広島地区向けで、回収されたP箱を新日本流通が自社の事業所などにおいて洗箱機で洗浄・乾燥させ、メーカー様の御注文に応じて指定場所へ即納するシステムです。

・不洗箱レンタルシステム

直納が難しい地区のメーカー様向けで、新日本流通が直納するのではなく、契約いただいたメーカー様が原則として全国びん商連合会加盟のびん商を通じて手当てしていただくシステムです。



これらのレンタルシステムは、いずれも賃貸借契約により、新日本流通がP箱をメーカー様にレンタルします。

レンタルされたP箱は、酒類食品問屋・小売店・・・と流通経路をたどり、びん商により回収されます。

●P 箱 ラインナップ

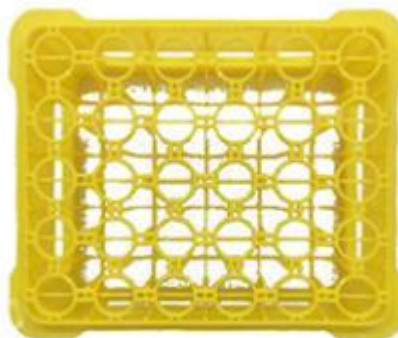
SCR1.8（1.8L びん×6 本用プラスチックコンテナ）



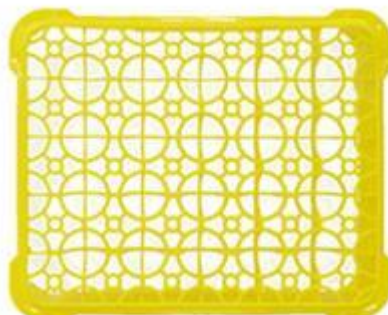
SCR700 他（中容量びん×12 本～20 本用各種プラスチックコンテナ）



SCR300 他（300ml びん×20 本～30 本用各種プラスチックコンテナ）



180ml びん×30 本用プラスチックコンテナ他



●P 事業所機能紹介

- レンタルされたあと回収協力店によって回収された P 箱を、洗函機で洗浄・乾燥・備蓄する機能を備えています。
- 当社は3つの事業所で円滑なP箱の流通に努めています。
- 苫小牧デポ～甲子園浜事業所間では、船舶での輸送を行い、モーダルシフトに対応しています。

鳴尾浜事業所

- 当社P箱の洗浄工場です。
- P箱洗浄に最適化した洗浄ラインを備えています。 また、調整により各種プラスチックコンテナの洗浄にも対応可能です



甲子園浜事業所

- 当社最大の屋内備蓄施設です。
- 船舶利用による輸送の荷受け機能を有しています。



●平成20年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰で財務大臣賞を受賞。

平成20年10月21日（火）、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会（事務局：東京都港区赤坂 財団法人クリーン・ジャパン・センター内）が主催する「平成20年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を受賞しました。



表彰式の模様



表彰状

- 【当表彰の目的】
 - リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている者を表彰することによりこれらの活動を奨励し、もって循環型社会の形成推進を図ることを目的とする。
- 【受賞内容】
 - 《受賞者名》 新日本流通株式会社、《所在地》 兵庫県西宮市
 - 《受賞テーマ》
 - 1. 8リットルびん（一升びん）のリユース・リサイクルを担うプラスチック製コンテナのレンタル事業
 - 《活動内容》

同社は、1. 8リットルびん用プラスチック製コンテナ（通称P箱）のレンタルを1973年に開始した。これは日本で初めてのリターナブル用プラスチック製コンテナのレンタル事業である。P箱の流通地域は事業開始時の近畿エリアから、現在は日本全国に拡大した。
- ●リユース

P箱は全国1, 100社余の酒類・飲料メーカーにレンタルされ、1. 8リットルびん製品の出荷に使用される。また空になった1. 8リットルびんはP箱に入れられ、同社がP箱回収を委託している全国びん商連合会加盟業者の協力により集荷される。P箱で回収された空びんは、選別・洗浄されて全国のメーカーでリユースされ、また、P箱自体も同社の事業所や洗浄委託先で洗浄・検査されて、繰り返しレンタルされる。このようにP箱のレンタル&リユースシステムは、1. 8リットルびんのリユースを全国レベルで支えている。
- ●リデュース

全国のメーカーがP箱を共通使用することで、メーカーが各個に自社箱を保有・使用することによるデメリット（回収コストや輸送エネルギーの無駄、ワンウェイ容器の大量使用・廃棄）が解消される。
- ●リサイクル

破損・変形などで使用不能となったP箱は、再生原料（ペレット）化してP箱の成型に利用される。P箱は単一素材（高密度ポリエチレン）であるためリサイクル工程も軽減化・省エネ化できる。

 - P箱のレンタル&リユースシステムは、その後に各業界で誕生するプラスチック製品循環型レンタルの先駆であり、各業界の3R推進にも寄与している。



1.8リットルびん用
プラスチック製コンテナ（P箱）



自社事業所での回収P箱の洗浄

●兵庫県環境にやさしい事業者賞を受賞

- ・当社は、第19回「兵庫県環境にやさしい事業者賞」において表彰されました。

「兵庫県環境にやさしい事業者賞」

- ・兵庫県では、環境保全・創造活動や環境学習の取組、環境にやさしい商品の製造、販売、サービスの提供、リサイクル活動など、環境に配慮した事業活動を展開している事業者「兵庫県環境にやさしい事業者賞」を交付されています。この賞は、生活者の視点から優れた環境保全・創造活動を展開している事業者を顕彰することにより、県民の環境に配慮した新しいライフスタイルづくりに資するとともに、事業者の環境保全・創造活動の促進を図ることを目的とするものです。

●リサイクル（壊れたケースも再利用）

流通過程で壊れてしまったケースも、新しいケースを作るための原料に使用し、リサイクルを推進しています。

下の写真のように細かく砕いて「フレーク」に加工し、新しいケースを作る際の原料として再利用しています。



壊れたお酒のケースを加工した「フレーク」
再生原料として再利用します。

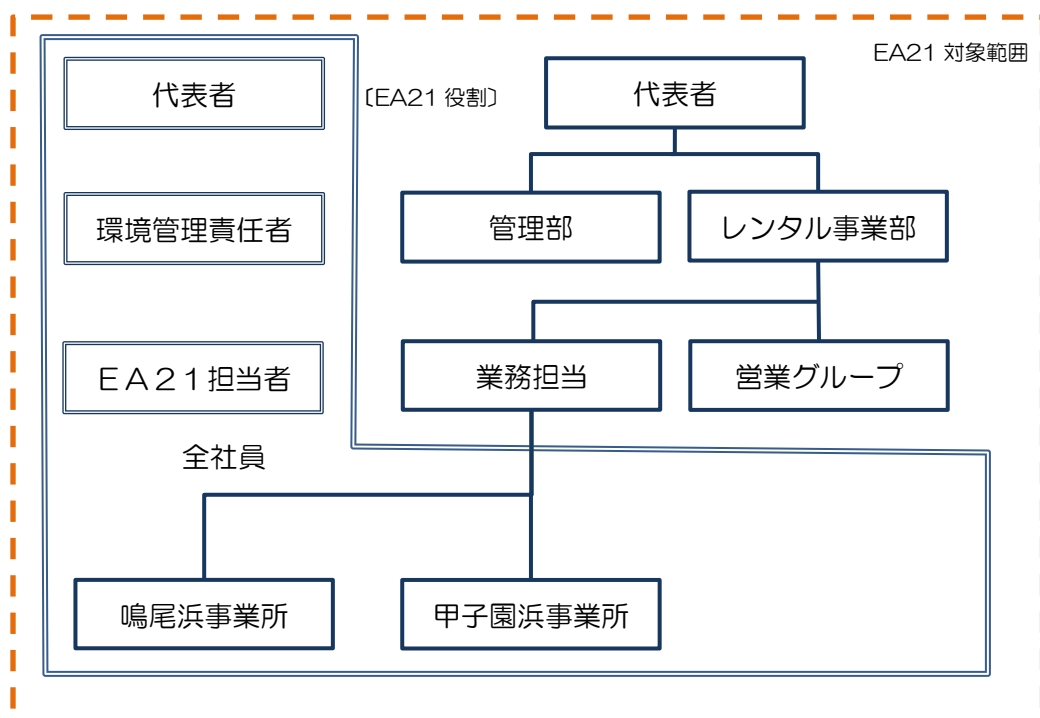


この取り組みにより、新たな資源、製造エネルギーの削減にも繋げ、「脱炭素」及び「持続可能な循環型社会づくり」に貢献できるシステムとしています。

■実施体制

※ 役 割

組 織



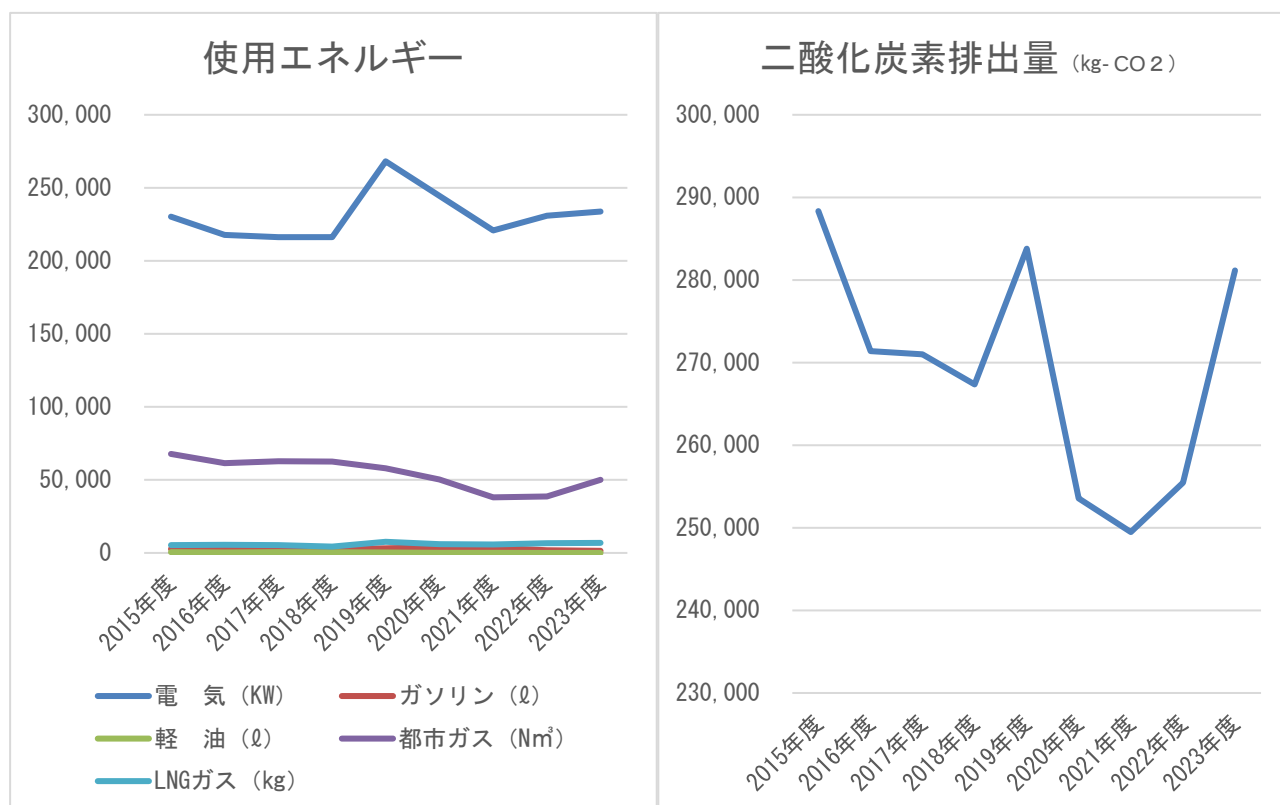
職 位	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	・ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 ・ 課題とチャンスをつまみ、環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する。 ・ 環境経管理責任者、EA21 担当者を任命する。 ・ 環境への取組を実施するため資源（人・もの・金）を準備する。 ・ EA21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	・ 環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 ・ 環境経営目標、環境経営計画を確認する。 ・ 定期的に環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認する。 ・ 上記の結果を代表者に報告する。 ・ 環境経営方針以外の環境文書の制改定を行う。
EA21 担当者	・ 環境管理責任者を補佐し、EA21 文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ・ 環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ・ 活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ ・ 環境上の外部コミュニケーション窓口 ・ 環境経営レポートの作成、環境管理責任者への報告
全 社 員	・ 環境経営方針、環境経営目標に沿った活動の展開 ・ 環境活動における改善点の提言など、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

■環境負荷実績と環境経営目標

●環境負荷実績（本社、鳴尾浜事業所、甲子園浜事業所）

項 目		2022 年度	2023 年度	増減
二酸化炭素排出量	CO ₂ 総排出量 (kg-CO ₂)	255,463	281,148	25,685
	電 気 (KW)	230,974	233,694	2,720
	ガソリン (ℓ)	1,939	1,471	-468
	軽 油 (ℓ)	0	0	0
	都市ガス (Nm ³)	38,783	49,975	11,192
	LNG ガス (kg)	6,653	6,976	323
水 資 源 投 入 量 (m ³)		5,184	5,659	475
一 般 廃 棄 物 排 出 量 (kg)		4,655	4,295	-360
産 業 廃 棄 物 排 出 量 (kg)		7,200	7,200	0
総物質投入量	コピー用紙購入量 (枚)	108,500	101,500	-7,000
	再生プラP箱 (箱)	0	131,000	131,000
	バーゾップP箱 (箱)	0	0	0
	化学物質 (洗浄剤等) 購入量 (ℓ)	3,330	1,175	-2,155
P 箱 リユース	P 箱事業所出荷数 (箱)	579,010	655,125	76,115
	P 箱回収数 (箱)	910,849	744,863	-165,986
	P 箱洗浄数 (箱)	720,803	738,990	18,187

●使用エネルギー・二酸化炭素排出量の推移



●環境経営中長期目標

項 目			基準年	目 標			
			2020 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	
二酸化炭素排出量	CO ₂ 総排出量 (kg-CO ₂)	(年-1%)	253,570	251,034	248,499	245,963	
	電 気 (KW)	(年-1%)	244,422	241,978	239,534	237,089	
	ガソリン (ℓ)	(年-1%)	4,044	4,004	3,963	3,923	
	軽 油 (ℓ)	(年-1%)	171	169	168	166	
	都市ガス (N m ³)	(年-1%)	50,284	49,781	49,278	48,775	
	LNG ガス (kg)	(年-1%)	6,121	6,060	5,999	5,937	
水 資 源 投 入 量 (m ³)		(年-1%)	5,564	5,508	5,453	4,423	
一 般 廃 棄 物 排 出 量 (kg)		(年-1%)	4,560	4,514	4,469	4,423	
産 業 廃 棄 物 排 出 量 (kg)		(年-1%)	63,840	63,202	63,563	61,925	
総物質投入量	コピー用紙購入量 (枚)	(年-1%)	142,000	140,580	139,160	137,740	
グリーン購入	再生 P 箱購入率 (%)	(30%以上)	30%以上	30%以上	30%以上	30%以上	
化学物質の管理 (洗浄剤等)		—	適切な管理	適切な管理	適切な管理	適切な管理	
P 箱リユース率	P 箱回収数 (箱) / P 箱事業所出荷数 (箱)	(10%以上)	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	

※ 電力の二酸化炭素排出係数は H29 年度調整後排出係数:鳴尾浜・甲子園浜はオリックス(株)0.678、本社は関西電力 0.496kg-CO₂/kWhを使用。

※ 弊社では PRTR 対象化学物質の取り扱いはありません。

※ 2019 年以降の環境目標は基準年 1 年間に対する削減率などを示しています。

●環境経営目標の実績及びその評価

項 目		目 標	実績	評価	達成率
		2023年度 (1~12月)	2023年度 (1~12月)		
売上高 (百万円)		—	—	—	—
二酸化炭素排出量	CO ₂ 総排出量 (kg-CO ₂)	248,499	281,148	×	88%
	電 気 (KW)	239,534	233,694	○	102%
	ガソリン (ℓ)	3,963	1,471	◎	268%
	軽 油 (ℓ)	168	0	◎	パーフェクト
	都市ガス (N m ³)	49,278	49,975	△	99%
	LNG ガス (kg)	5,999	6,976	×	86%
水 資 源 投 入 量 (m ³)		5,508	5,659	△	96%
一 般 廃 棄 物 排 出 量 (kg)		4,514	4,295	○	104%
産 業 廃 棄 物 排 出 量 (kg)		63,202	7,200	◎	869%
総物質投入量	コピー用紙購入量 (枚)	139,160	101,500	◎	137%
グリーン購入	再生 P 箱購入率 (%)	30%以上	100%	◎	333%
化学物質の管理 (洗浄剤等)		適切な管理	適切な管理	○	—
P 箱リユース率	P 箱回収数 (箱) / P 箱事業所出荷数 (箱)	10%以上	113%	◎	1,137%

※ 評価基準:達成率 105%以上・◎、100%以上・○、90%以上・△、90%未満・×

■ 主な環境経営計画

二酸化炭素排出量の 1 %削減

No.	環境目標	活動項目	担当	評価	SDGs 目標
1	電気使用量の削減	① 無駄な電灯の消灯 「節電」の掲示	全社	○	 
		② 空調による室温の適宜調整	全社	○	
		③ 洗浄設備等の適切な運転管理、効率的な稼働	事業所	○	
		④ 事業所照明の LED 化の推進	事業所	○	
2	ガソリン・軽油使用量の削減	① エコドライブの実践	本社	○	
		② 定期的な車両の点検	本社	◎	
		③ 公共交通機関の活用	本社	○	
3	都市ガス使用量の削減	① 洗浄設備の効率的な稼働の実践	事業所	○	
4	LNG ガス使用量の削減	① 定期的なリフトの点検実施	事業所	○	

水使用量の 1 %削減

No.	環境目標	活動項目	担当	評価	SDGs 目標
1	水使用量の削減	① 水道付近に「節水」掲示	全社	◎	 
		② 洗浄設備の適切な管理による効率な稼働	事業所	○	
		③ 洗浄設備における循環水の利用	事業所	○	
2	排水の適切な管理	① 排水処理設備、下水排水の適切な管理	事業所	◎	

廃棄物排出量の 1 %削減

No.	環境目標	活動項目	担当	評価	SDGs 目標
1	一般廃棄物の削減	① 文書の OA 化推進	全社	○	 
		② コピー用紙の裏紙利用	全社	○	
2	産業廃棄物の削減 リサイクルの推進	① 容器リサイクルの推進	全社	◎	
		② 産業廃棄物の削減、分別の徹底推進	全社	◎	
		③ リサイクル業者の適切な選定	全社	◎	

化学物質（洗剤等）の適切な管理

No.	環境目標	活動項目	担当	評価	SDGs 目標
1	化学物質（洗剤等）の適切な管理	① 化学物質（洗剤等）の適切な管理・使用	事業所	◎	 
		② 化学物質（洗剤等）の安全性に関する情報伝達のため、SDS シートによる管理の徹底	本社 事業所	◎	

コピー用紙購入量の削減・グリーン購入の推進

No.	環境目標	活動項目	担当	評価	SDGs 目標
1	コピー用紙購入量の削減	① 裏紙利用の推進、FAX の OA 化推進	本社	◎	 
2	グリーン購入の推進	① OA 用紙等エコマーク商品の購入	本社	△	
		② 再生プラスチック箱の購入	本社	◎	
		③ 会合等開催時におけるマイカップ使用の推進	本社	◎	

リユース P 箱レンタルの推進

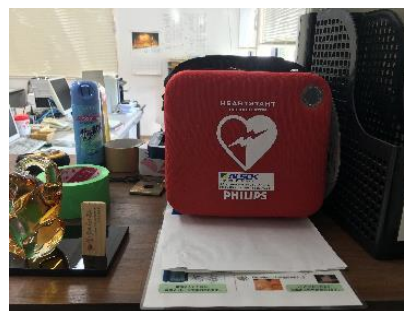
No.	環境目標	活動項目	担当	評価	SDGs 目標
1	リユース P 箱レンタルの推進	① P 箱回収量増加、リユース P 箱レンタル、リユース瓶の広報活動の推進	本社	◎	 
		② リユース P 箱の地域間での効率的な配送手配	本社	◎	
		③ リユース P 箱回収時のモーターシフトの推進	本社	◎	
		④ リユース P 箱の品質チェックの徹底	事業所	◎	

※評価基準：◎よくできている、○できている、△一部できている、×できていない。

●取組み評価（取組み効果） 及び次年度の取組み

項 目		評価（取組み効果）及び次年度の取組み
二酸化炭素排出量	CO ₂ 総排出量	【原単位：353.99 kg-CO₂/百万円（前年 352.36kg-CO₂/百万円）】 【目標未達】昨年と比較し総量は+25,685 kg-CO₂/年増加している。また、売上あたりの効率率は、わずかではあるが少し悪くなっている。対応・対策は、以下のとおり。
	電 気	【原単位：341.22kw/百万円（前年 318.58 kw/百万円）】 【目標達成】昨年と比較し総量は+2,720kw/年削減している。また、売上あたりの効率も低下している。原因は時期変動によるものと考えられる。次年度も継続して目標達成できるよう努力する。
	ガソリン	【原単位：5.65ℓ/百万円（前年 2.67ℓ/百万円）】 【目標達成】昨年と比較し総量は-468kw/年削減している。しかし、売上あたりの効率率は、大幅に悪化している。少しずつ正常活動に戻り、訪問できていなかった顧客等への移動が要因。次年度も継続して目標達成できるよう努力する。
	軽 油	【原単位：0.00ℓ/百万円（前年 0.00ℓ/百万円）】 【完全達成】今年度は車両未使用のため、軽油自体の購入はなかった。そのため、軽油からの温室効果ガス削減を実現できている。次年度以降も、このまま車両未使用とするか検討する。
	都市ガス	【原単位：70.20Nm³/百万円（前年 53.49 Nm³/百万円）】 【目標未達】昨年と比較し総量は+11,192 N m³/年と大幅に増加している。売上あたりの効率も悪くなっている。出荷数、洗浄数は前年度より増加傾向にあり、次年度も継続して効率的な洗浄体制により目標達成できるよう努力する。
	LNG ガス	【原単位：8.55kg/百万円（前年 9.18kg /百万円）】 【目標未達】昨年と比較し総量は+323 kg/年増加している。しかし、売上あたりの効率は、少し良くなっている。次年度も継続して目標達成できるよう努力する。
	水 資 源 投 入 量	【原単位：7.77 m³/百万円（前年 7.15 m³/百万円）】 【目標未達】昨年と比較し総量は+475 m³増加している。また売上あたりも増加しているが、1 箱あたり P 箱洗浄使用量で比較すると 7.65 ㍲/箱（前年 7.19 ㍲/箱）と殆どかわらない運用ができています。次年度においても継続して削減及び効率化に取り組み、目標達成できるよう努力する。
一 般 廃 棄 物 排 出 量		【廃棄物全体原単位：6.37kg/百万円（前年 6.42kg /百万円）】 【目標達成】昨年と比較し総量は-360 kg/年減少している。売上あたりも減少できている。次年度も目標達成できるよう継続した取り組みを推進する。
産 業 廃 棄 物 排 出 量		【目標達成】昨年と比較し総量は同数となっている。次年度も継続して目標達成できるよう努力する。
総物質投入量	コピー用紙購入量	【環境指標：198.2 枚/百万円（前年 149.6 枚/百万円）】 【目標達成】昨年と比較し総量は-7,000 枚削減できている。しかし、売上あたりの効率は悪くなっている。主な使用用途は全国大中小の酒造メーカーからの受発注だが、これまでの FAX 方式から一部デジタル化推進による効果がでてきている。次年度も継続して目標達成できるよう努力する。
グリーン購入	再生 P 箱購入率	【 ー 】今年度は自社再生プラ P 箱購入することができた。次年度以降も P 箱購入時は、できる限りリユースを最優先に継続して取り組む。
化学物質の管理（洗浄剤等）		【環境指標：1.59 ml/P 箱洗浄数（前年 4.62 ml/P 箱洗浄数）】 今年度は前年と比較し減少させることができています。また、化学物質の管理は適切にできています。次年度も継続して取り組む。
P 箱リユース率	P 箱回収数（箱） / P 箱事業所出荷数（箱）	【P 箱リユース率 113.7%（前年 126.4%）】 【目標達成】運営体制変更後も、社員の協力により今年度も目標を達成できた。昨年度は、事業所出荷数減少が要因だったが、少しずつ出荷数も増加傾向となっている。次年度も継続して回収数増加、出荷数増加を目指し目標達成できるよう努力する。
今後の課題とチャレンジ		・今後の大きな課題としては、P 箱納入数減少への対応。 ・P 箱シール対策として取組んだ「改良 P 箱」に順次入替えを継続し、さらに作業手間削減と電気、都市ガス、水資源、化学物質の使用量削減に取り組むこと。 ・自然災害のリスク対応の検討。

●環境活動状況



■チャレンジ『創意工夫』

- ・配送時のシールを剥がしやすくするP箱に改良しました。
- ①表記工夫、
- ②シールはがしやすさ、
- ③返却お願い文の明記
- ・これにより、剥がす作業の効率化が図れます。
- ・今後順次、入れ替えていく予定です。



■環境関連法規等の順守状況

環境関連法規および条例への違反・訴訟などはありません。地域からの苦情もありません。
 なお、関係当局からの違反等の指摘も、過去３年間含めありません。

No.	環境関連法規名	要求事項	遵守事項等ポイント	チェック日	
1	環境基本法	環境保全の基本理念、環境保全の総合的推進 「環境基本計画」・「環境基準」	ばい煙・汚水・廃棄物処理、公害防止、自然環境保全、製品の使用や廃棄による環境負荷の低減、再生資源化、環境保全施策への協力	○	12/22
2	循環型社会形成推進基本法	循環型社会の形成についての基本原則	事業者・国民は「排出者責任」 生産者は「拡大生産者責任」	○	12/22
3	廃棄物処理法	一般廃棄物の処理	委託基準 委託先の許可確認	○	12/22
		産業廃棄物の委託処理	委託基準 1. 委託先の許可確認	○	12/22
			委託基準 2. 委託契約の締結 3. 契約書の５年間保存	○	12/22
			マニフェストの交付 1. 交付義務	○	12/22
			・マニフェストの交付 2. 回収・照合（発行後 B 2, D 票 90 日 E 票 180 日以内） 3. 保管（5 年間） ・未回収戻り票の報告 ・「交付状況報告」（各年度実績 6 月 30 日まで）	○	12/22
		産業廃棄物の保管	・積上げ高さの遵守、風雨、悪臭発生に対する対策 ・保管場所の掲示板設置（表示内容規定あり、サイズ縦横 60 cm 以上）	○	12/22
4	容器包装リサイクル法	容器包装類の排出	市町村が定めた分別の基準に従い容器包装廃棄物も適正に分別排出する	○	12/22
5	家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出	小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する	○	12/22
6	自動車リサイクル法	・使用済みとなった自動車の引き取り業者への引き渡し ・リサイクル費用を資金管理法人に対し預託	・使用済みとなった自動車は引き取り業者に引き渡す。（購入業者に依頼する。） ・リサイクル費用を資金管理法人に対し預託する。（初回車検時にリサイクル費用を払う）	○	12/22
7	グリーン購入法	環境物品等の調達の推進、情報の提供、需要の転換促進	物品の購入、借り受け時に可能な限り環境物品を選択するよう努める	○	12/22
8	資源有効利用促進法（3R 推進法・パソコン R 法）	使用済物品・副産物・廃棄物の発生の抑制、再生資源・再生部品の利用促進	4 副産物発生抑制・再資源部品利用 10 特定省資源業種 15 特定再利用業種 18 指定省資源化製品 21 指定再利用促進製品 24 指定表示製品 26 定再資源化製品 34 指定副産物 当面パソコン・小型二次電池対象	○	12/22
9	下水道法	下水道への排水	下水道への排除基準 公共下水道使用開始（変更）届出 ①日最大汚水量が 50m ³ 以上の者、②汚水の水質が届出を要求する水質に該当する者、③一ヶ月の汚水量が 600m ³ 以上の者、④上記①～③の届出をした者で、下水の量又は水質を変更しようとする者	○	12/22
10	消防法	危険物 指定可燃物	指定可燃物貯留・取り扱い届出	○	12/22
11	フロン排出抑制法	・フロン類の適切な処理 ・業務用エアコン・冷凍冷蔵庫管理者の簡易・定期点検 ・漏えい量行政報告義務 ・フロン回収重点業者登録と実績報告	・業務用空調機 ※簡易点検：すべての機器 エアコン定期点検 1 回/3 か月 ※定期点検：7.5KW-50KW 1 回/3 年、 50KW 1 回/年	○	12/22

■環境コミュニケーション

- ・外部とのコミュニケーションとして、雑誌に次の資料を掲載、チラシにて配布しています。



お酒のケースは一升びんと同じく、**回収・洗浄**して繰り返し**リユース**されています。

近所で見かけたら、ご一報を！
返却はお近くの酒屋さんへ、もしくは
新日本流通にご連絡下さい。

 新日本流通株式会社

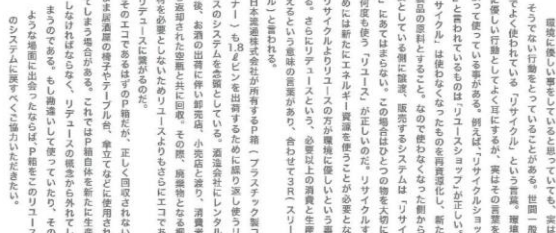
兵庫県西宮市和上町6・10
TEL.0120・079・890 (フリーダイヤル)
TEL.0798・23・7031

P箱レンタル(リユース)の流れ



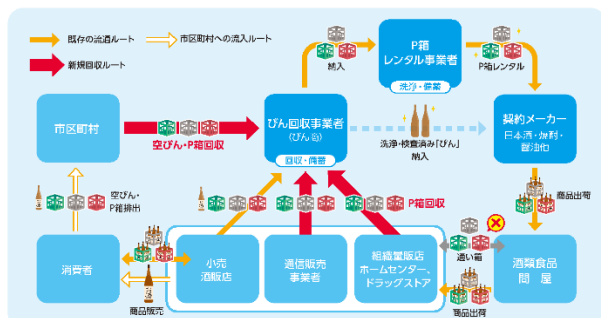
P箱回収拠点一覧HPサイト：<http://www.snr6p.co.jp/kaishukyoten.shtml>

1. P 箱回収啓蒙活動の施策として、大阪デザイナー専門学校のアニメーション科において
30 秒の CM 作成し、エキスポシティ内各所の
ディスプレイで配信（2017 年 9 月末～10 月
末）。



P箱の適正利用・返却にご協力を！

- 現在のように、複製・流通の形態を捉えられ、33 (リデュース (押し印刷)・リユース (再使用)・リサイクル (資源回収)) の取組を進めています。
- 33 の中では、リサイクルよりも優先順位が高い R (リデュース・リユース) を推進する必要があると考えられています。
- リデュースの代表例としてはガラスびんのリユース (例：一升びんやビールびんなど) があり、びんを着せずに回収し、洗浄して繰り返し使用することで、廃棄物の削減に役立っています。
- ガラスびんが必須では、ガラスびんを車がぶち回す (プラダック 数寄市町 (旧称：P池)) が必要ですが、P池の目的は外資や派遣、派遣者の発生により、P池が不足しているため、ガラスびんのリユースが課題になっている地域も確認されています。
- P池の目的は外資や派遣・留滞による、一般家庭から市町村に引きとられ、廃棄されてしまったり、これまで P池が不足していた小売業者等に運動方法が十分に周知できていないことが原因と考えられます。
- P池の運用方法をよく見てみると、車身製造事業者自身が所有して流通させている箱とレンタルの事業者が所有し、車身製造事業者がレンタルして流通させている箱があります。いずれの運用形態でも、P池が所有する場合は **P池所有者に返却** していただく必要があります。
- ガラスびんをリユースし、持続可能な循環型社会を形成するためにも P池の道正戸と返却口で廃れたためにも、お悩みの解消をお願いします。



事業者様へ 酒類免許緩和に伴い縮減量販店での酒類取扱いが増加。返却ルートが不整備の事例が考えられます。又、酒類食「間屋と組織量販店との間で「買い集」して用途外使用（漏用）されP給不足の一要因となっている。

P箱の回収・返却に
(プラ箱)
ご協力ください



環境省 × 日本P箱レンタル協議会

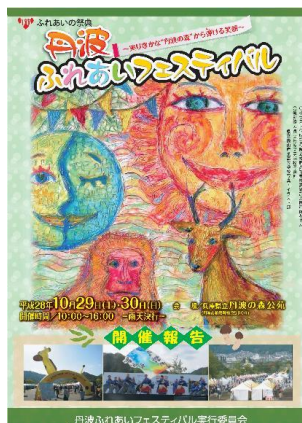
YouTube ユーチューブにPR動画をUPしました。



お酒のケースのリユースにご協力を！新日本流通株式会社
HPサイト：http://www.snr6p.co.jp/movie/snr_PR.mp4

口これまでのイベント等における取り組み

- ・2015年11月14日： 淡路ふれあいフェスティバル参加。
- ・2016年10月29日： 丹波ふれあいフェスティバルに参加。
- ・2017年10月28日： 西播磨ふれあいフェスティバルに参加。
- ・2018年10月20日、21日：ふれあいフェスティバルin東播磨に参加。
- ・2019年10月26日、27日：ふれあいフェスティバルin北播磨に参加。
- ・2020年～2021年：新型コロナウイルス感染拡大防止措置の一環として中止。
- ・2022年：「ふれあいフェスティバル」県下2巡することができ、発展的終了。



□これまでの臨海産業団地の緊急事態に備えた訓練などの取り組み

- 2015年 7月 6日 : 鳴尾浜団地避難訓練に参加。
- 2016年10月24日: 津波避難訓練に参加。
- 2017年10月24日: 南海トラフ巨大地震避難訓練に参加。
- 2018年10月23日: 南海トラフ巨大地震避難訓練に参加。
- 2019年10月29日: 南海トラフ巨大地震避難訓練に参加。
- 2020年 9月29日: 感染防止対策実施の上、訓練を実施。
- 2021年10月26日: 感染防止対策実施の上、訓練を実施。
- 2022年5月、11月: 鳴尾浜地内一斉清掃に2回/年参加。
- 2023年5月、11月: 鳴尾浜地内一斉清掃に2回/年参加。



□これまでの子供たちとのコミュニケーション（環境教育サポート）



- | | |
|---------------|----------------------------------|
| • 2016年1月22日 | 西宮市立海小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2016年6月28日 | 西宮市立深津小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2017年2月3日 | 西宮市立用海小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2017年7月4日 | 西宮市立深津小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2018年1月30日 | 西宮市立用海小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2018年6月7日 | 西宮市立深津小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2019年1月29日 | 西宮市立用海小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2019年6月18日 | 西宮市立深津小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |
| • 2020年～2022年 | 新型コロナウイルス感染拡大防止措置の一環として中止。 |
| • 2023年 | 西宮市立小松小学校出前授業(『お酒とびんのものがたり』)を実施) |

新日本流通株式会社

一升びん用の酒瓶を、レンタルしてリユースしている企業の方には、家庭でできること、「リユースするびん」と「一度だけ使うびん」の見分け方を教えていただきました。

家では簡単にやるといっても行費がかかることを、実際に市場に出回っている様々なびんに触れて確認し、リユースするびんはP箱に、リサイクルするびんはもやさないごみ(分別収集用)のざりたたみコンテナに仕分けしました。

マークが小さかったり見にくかったりと分かりづらいうちもあったようですが、友達と教え合いながら無事に分別できました。



■代表者による全体の評価と見直し

弊社の主業務は、酒造ならびに食品メーカー様と連携した、1.8 リットルびん用プラスチック製コンテナのレンタル事業であります。この事業はレンタルにより「リユース」、「リデュース」、「リサイクル」を実現させ、「歴史あるリユースの優等生である 1.8 リットルびん」を支えると共に「持続可能な社会の形成」に向けての一躍を担う重要な事業であると認識し、事業活動を行っています。また、さらに様々な各種団体、企業様と協力しあい、この事業が社会システムとして定着するように様々な継続的な活動を行っています。

「エコアクション21」に取り組む9年目ですが、効率的な運営体制とするため、事業所閉鎖、定年退職による人員減少後の運営体制の見直しを行うなど自助努力しているところです。

そのような中、事業所においては「照明のLED化」、「ケース洗浄システムの効率化及び洗浄水の再利用化」など、様々な環境への取り組みを行ってきています。

しかし、残念ながら社会のライフスタイルの変化により、「1.8 リットルびん」の利用が減少し、これに連動し弊社P箱のレンタル使用数は減少傾向に加え、コロナ対策により飲食店の時短営業、閉店など、一升瓶自体の利用減少が続いてきましたが、少しずつ元の社会に戻り始めた一年となりました。

世界コロナ禍以降、健康志向の社会へと少しずつ変わりつつある中、「新型コロナ無効化」する「5_ala (5-アミノレブリン酸)」が食品飲料中一番多く含まれているのは『日本酒』であるとの発表がなされました。弊社としても「適量飲酒による自己の抵抗力（免疫力）向上効果」を広く社会に情報発信していく活動を継続してきたいと考えております。

また、昨今、世界における海洋プラスチックごみ問題が大きく取り沙汰されており、これを機会に改めて「歴史あるリユースの優等生である 1.8 リットルびん」が社会において見直されるよう、弊社も広報活動などに積極的に取り組んでいきます。

今後、さらに社内における環境意識の向上と社員が事業における社会的役割について再認識し、継続して取り組み、更なる意識向上と様々な意味での環境改善につなげたいと考えます。

環境経営システムの見直し事項	変更の必要性	内 容
環境経営方針、環境経営目標・計画、実施体制	なし	今後の動向を見極め、原単位目標への見直しを検討する事。
環境経営システム	なし	継続して社内浸透するよう、継続し取り組むこと。
その他、代表者が必要と判断した情報	なし	特になし。
課題とチャンス	—	・今後の大きな課題としては、P箱納入数減少への対応。 ・コロナ対策：緊急事態宣言等による一升瓶自体の利用減少への対応。 ・「改良P箱」への入替え継続。 ・効率的活動の模索と安定稼働に心掛ける。

私たち新日本流通株式会社は、
物流ケース（リユース）のプロフェッショナル企業として、
SDGs の取組みに率先してチャレンジし、
持続可能な社会の実現に努めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs（エスディージーズ）とは「Sustainable Development Goals」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



新日本流通株式会社

〒662-0971 兵庫県西宮市和上町6番10号

TEL : 0798-23-7031 (代表)

<http://www.snr6p.co.jp>